

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 1 区分
【発行日】令和 4 年 8 月 22 日(2022.8.22)

【公開番号】特開 2021-168689(P2021-168689A)
【公開日】令和 3 年 10 月 28 日(2021.10.28)
【年通号数】公開・登録公報 2021-052
【出願番号】特願 2021-120516(P2021-120516)
【国際特許分類】

A 2 4 D 3/17(2020.01)

10

A 2 4 D 3/04(2006.01)

【F I】

A 2 4 D 3/17

A 2 4 D 3/04

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 8 月 10 日(2022.8.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 および第 2 端部を有し、第 1 および第 2 端部の間を延びる複数の貫通孔を含むモノリシックロッドである、揮発させた喫煙材を冷却するためのエアロゾル冷却部材であり、実質的に非圧縮性であり、セラミック材またはポリマーで形成され、前記複数の貫通孔が前記モノリシックロッドの中央長手方向軸に対して実質的に平行に延び且つ横断面で見てエアロゾル冷却部材の半径方向に配置されている、エアロゾル冷却部材と、
エアロゾル冷却部材の一端に管と、
エアロゾル冷却部材の他端に中空の吸い口端管とを含む、

30

喫煙材を加熱するための装置と使用するための冷却集合体。

【請求項 2】

貫通孔の大半は、六角形またはほぼ六角形の断面形状を有することを特徴とする請求項 1 記載の冷却集合体。

【請求項 3】

前記エアロゾル冷却部材は熱可塑性ポリマーで形成されていることを特徴とする請求項 1 記載の冷却集合体。

【請求項 4】

前記エアロゾル冷却部材は押し出し可能なプラスチック材で形成されていることを特徴とする請求項 1 記載の冷却集合体。

40

【請求項 5】

前記エアロゾル冷却部材の多孔度が 60% ~ 75% の範囲内にあることを特徴とする請求項 1 記載の冷却集合体。

【請求項 6】

前記エアロゾル冷却部材の多孔度は約 69% ~ 70% であることを特徴とする請求項 5 記載の冷却集合体。

【請求項 7】

前記管は揮発させた喫煙材をろ過するフィルター機能を供するための中空の管であることを特徴とする請求項 1 記載の冷却集合体。

50

【請求項 8】

エアロゾル冷却部材の他端に第 2 の管を含むことを特徴とする請求項 1 記載の冷却集合体。

【請求項 9】

喫煙材と、
喫煙材を加熱した際に発生する揮発させた喫煙材を冷却するための請求項 1 記載の冷却集合体とを含む、喫煙材を加熱するための装置と使用するための喫煙品。

【請求項 10】

吸い口端管は、喫煙材を加熱した際に発生する揮発させた喫煙材をろ過するフィルター機能を供するように構成されていることを特徴とする請求項 9 記載の喫煙品。

10

20

30

40

50